

# 災害時の情報伝達基盤技術に関する研究開発

東北地方のテストベッド※を活用し、災害時に確実に情報伝達を行うために必要となる情報通信ネットワーク基盤技術に関する研究開発・評価を行う。

## 1 施策の概要

### (1) 災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発

通信インフラが地震・津波等で損壊した場合に、地震による影響を受けにくい衛星通信により、ニーズに応じた回線確保を円滑に図るため、地球局が衛星を選ばずどの衛星とも通信可能とするための研究開発を行うとともに、テストベッドによる技術実証・評価を行う。

### (2) 災害時に被災地の通信処理能力を緊急増強する技術の研究開発

大規模災害時に、通信設備の被災や通信集中（輻輳）により、既存の通信サービスの利用が困難となる場合に、応急復旧活動等に係る通信を確保するため、他の拠点の通信処理能力を融通する技術や、被災地に搬入して迅速に通信環境を構築することを可能とする可搬型交換設備等の研究開発を行うとともに、テストベッドによる技術実証・評価を行う。

※テストベッドとは、研究段階の技術を検証するための試験環境のこと。

## 2 イメージ図

